

大阪を元氣にする新たな道路ネットワーク 「大阪都市再生道路」の一翼を担います。

■ 大阪都市再生環状道路の形成



現在、大阪の阪神高速道路ネットワークは、1号環状線を中心に神戸線、守口線、堺線などが放射状に伸び、それらの路線を行き来するには一旦1号環状線に入らなければなりません。こうした大阪中心部に用事のない、いわゆる通過交通が慢性的な渋滞を引き起こしています。この問題を解決するため、平成13年に「都市再生プロジェクト」が策定され、「大阪都市再生環状道路」の整備が決定しました。

「大阪都市再生環状道路」を構成する淀川左岸線や大和川線が開通すると、新たな道路ネットワークが形成され都心部の通過交通が分散されます。それによって都心部の慢性的な交通混雑が緩和されます。

最適なルート選択が可能となり、 時間短縮、渋滞緩和に寄与します。

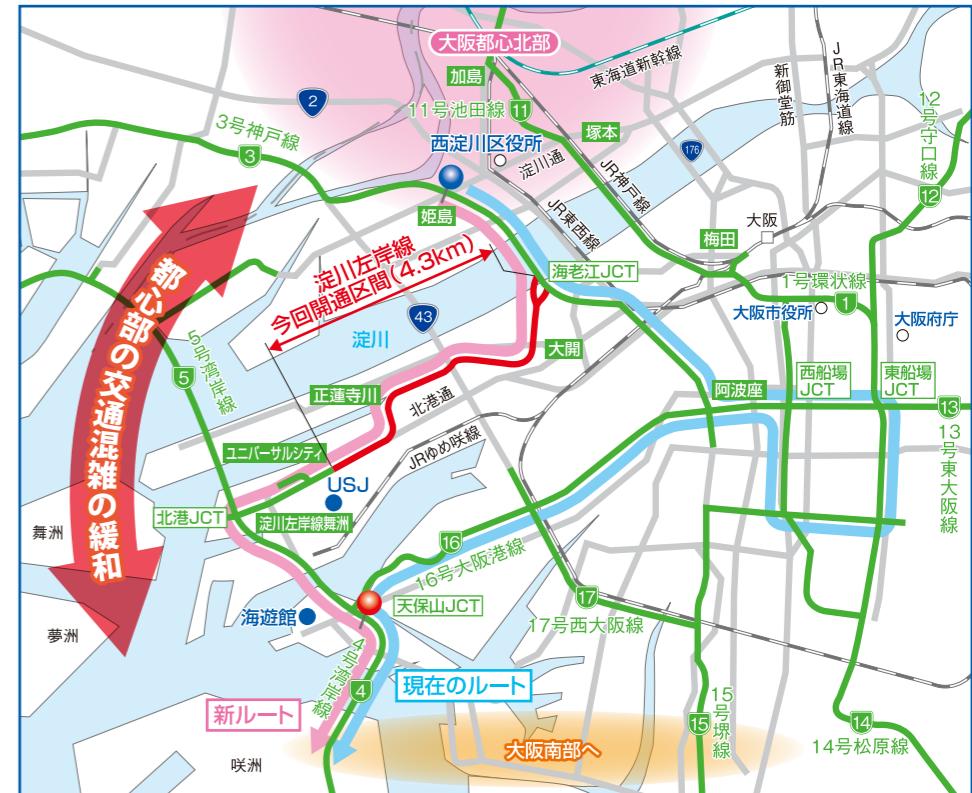
■ 大阪都心部の交通混雑緩和

3号神戸線と5号湾岸線を直結するルートが形成されることにより、大阪都心北部からの通過交通が分散され、都心部の慢性的な交通混雑が緩和されます。

姫島 ←→ 天保山JCT

| | |
|--------------------|------------|
| 神戸線→環状線 利用ルート | 32分 |
| 神戸線→淀川左岸線 利用ルート | 12分 |

20分
短縮



■ 東西の交通軸強化

大阪ベイエリアと都心部を結ぶ東西の交通軸が強化され、物流の効率化が図られます。

大開 ←→ 淀川左岸線舞洲

| | |
|------------|------------|
| 一般街路利用ルート | 15分 |
| 淀川左岸線利用ルート | 7分 |

8分
短縮



※高速道路の所要時間は、過去の統計上の平日最大所要時間から算出した往復経路の平均値
※一般街路の所要時間は、平成22年道路交通センサスから算出した往復経路の平均値